



情報プラットフォーム整備データを水土里情報システムで活用した事例について紹介します。

今回紹介する団体：水土里ネットおきなわ

取組概要

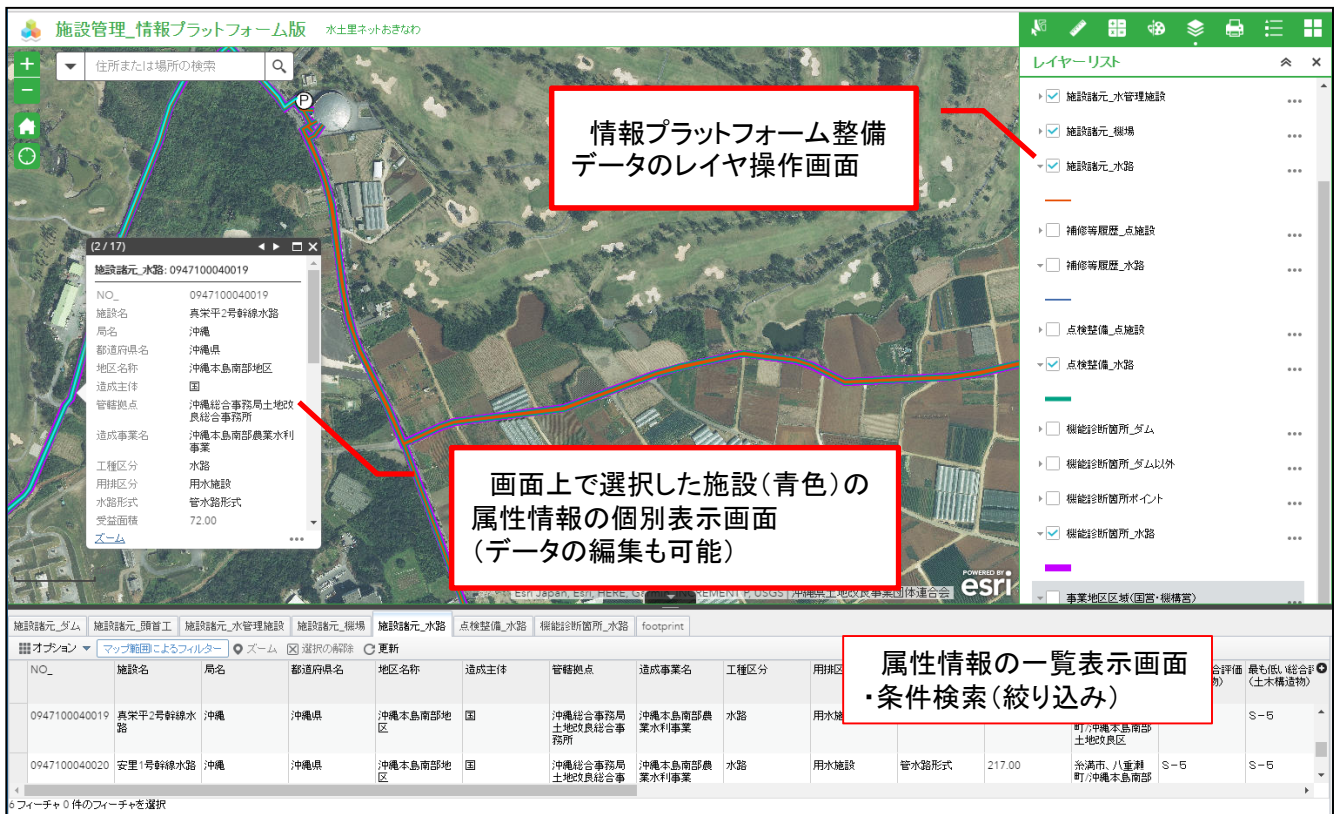
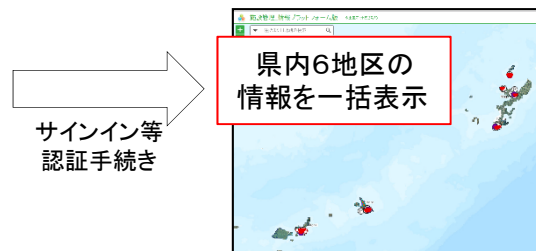
(1/2)

内容：平成27年度から農業水利施設の長寿命化を目的に国営造成水利施設の保安全管理情報等が情報プラットフォーム整備データとして提供が開始されました。沖縄県では、この情報プラットフォーム整備データの関係組織での円滑な利活用を図るため、クラウド版水土里情報システムでデータの公開を開始しました。

経緯：沖縄県では平成25年度からデスクトップ版、モバイル版、Web版の3種類の水土里情報サービスを提供しています。これらのサービスの利用拡大を図るため、情報プラットフォーム整備データの追加を行いました。



(情報プラットフォーム用アクセス画面)



(情報プラットフォームの参照例)

期待される効果

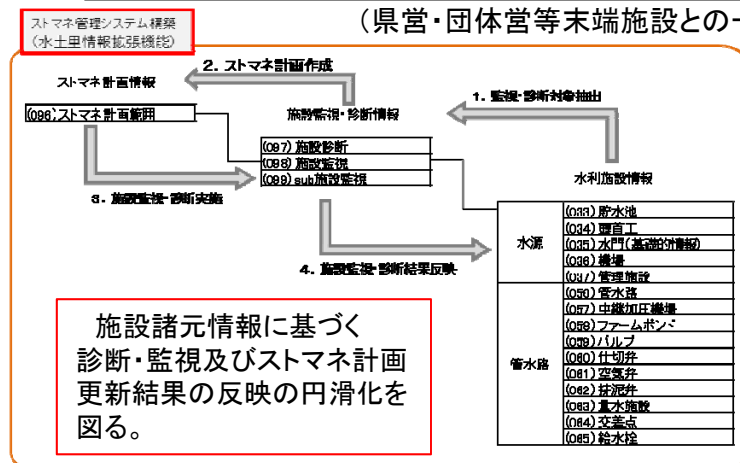
日ごろ使いなれたWeb環境で、容易に関連情報へのアクセスが可能となります。
⇒利用コスト削減、利用者拡大、情報更新頻度の向上、付加価値の増加

今後の活用予定

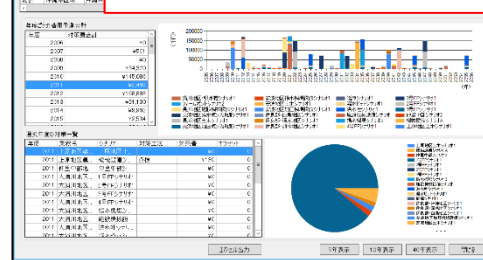
今後、国営施設のみならず、県営・団体営施設も含めた水源から末端施設まで一貫した管理を目指し、データの一元化を推進します。



(県営・団体営等末端施設との一元管理イメージ)



蓄積されたストマネ計画を基に
将来の費用予測及び平準化の検討
を支援する。



(水利施設ストックマネジメントのデータ連携及び費用予測イメージ)

GISシステムのバージョン情報

ArcGIS Online

ArcGIS for Server10.3(ELA契約におけるライセンス利用)

■お問い合わせ先

沖縄県土地改良事業団体連合会 総務部会員支援課水土里情報企画班 (098-888-4511)

農林水産省農村振興局整備部設計課計画調整室(細川、久貝) 03-6744-2201(直通)